



lesson88 … 不定詞⑤ It — for 人 to ~ の文

(1) It's important to study math.

|| 『数学を勉強することは重要です。』
[It is]

(2) It isn't easy to read the story.

|| 『その物語を読むのは簡単ではありません。』
[is not] 否定文にするときは be 動詞(この文では is)のうしろに not を置く。過去形の文では was not [wasn't]にする。

(3) It is difficult for me to understand Japanese.

|| 『私にとって日本語を理解することは難しい。』
[hard]

(4) Is it interesting for you to write letters in English?

『あなたたちにとって英語で手紙を書くことはおもしろいですか。』

疑問文は be 動詞を文頭に持っていく。Yes, it is. 「はい、そうです。」
または No, it is not. 「いいえ、そうではありません。」で答える。

≪ It — (for 人[...]) to ~ . ≫ ※ ~には **動詞の原形**が入る。
「(…にとって)~するのは一だ。」

It は to ~ の代わりにする形式主語(仮主語)。It は意味を持たない語なので訳さない。to ~ の部分は真主語という。

このような形を使うのは、英語では、文頭に長い主語がある文をきらうため。to ~ の部分を It を使って短い主語にし、本当の主語は文末(文の後半)に置く。

☆ for 人[...] の部分を省略した形もある。→(1)(2)

☆ 一の部分に、行為者の性質・性格をあらわす語があるときには
≪ for 人 ≫ ではなく ≪ of 人 ≫ のかたちにする。

… 性質をあらわす語には、kind/good/nice (親切な)、polite (ていねいな)、rude (無礼な)、careless (不注意な)、clever/smart/wise (頭のよい、利口な)、foolish/stupid/silly (ばかな、愚かな) などがある。

It is kind of you to help me. 「私を助けてくれるなんてあなたは親切です。/私を助けてくれてありがとう。」

It was careless of him to say such a thing.
「そんなことを言うなんて彼は不注意だった。/
不注意にも彼はそんなことを言った。」